

地域でがんばる人たちへ届けます

# 「とよなか夢基金」ニュース



「とよなか夢基金(市民公益活動基金の愛称)」は、豊中の市民公益活動を活発にし、夢の実現を応援しようという皆さんから寄せられた寄付金で成り立っています。



課題解決に取り組む  
市民団体や自治会に助成しています。

## わたしとあなたの 未来をつくる。



団樂長屋プロジェクト



豊中池田おやこ劇場



豊池北町自治会防災を考える会



とよなかま



誕生教育劇団 1276 座



豊中少年少女合唱団



SMILE 編集部



シアターワークそらまめ

### 内容

特集 | 助成事業の紹介.....P2  
お知らせ | とよなか夢基金は7年目を迎えます...P4





# 特集

## 助成事業の紹介



隣近所で  
困ったことがあれば  
「お互いさま」で助け合った  
かつての長屋で暮らすような  
多世代交流の場づくりをめざして

だんらんがや  
団楽長屋プロジェクト

# ZINE「だんらんしんぶん」 子どもがつくる多世代交流型

とよなか夢基金は、まちを元気に豊かにするさまざまな市民公益活動に助成しています。平成26年度は、11事業に助成。その一部をご紹介します。

### 団楽長屋プロジェクトとは？

団楽長屋プロジェクトは、「子どもを中心とした多世代交流の拠点」をめざして、2013年に蛸池に設立された団体です。主な事業は「団楽学童舎」と名づけられた学童保育。毎週土曜日、小学生を対象に行う学習支援・掃除・畑作り・外遊びや創作活動などを通じて、異年齢が共に育っています。さらに、地域全体で子どもの成長を見守っていくために、積極的に地域の方々とも子どもたちが交流する機会を作っています。

### 子どもがつくる ZINE(ジン)

ZINEとは、出版社など関係なく、自由に好きなものを記事にした小冊子のこと。団楽長屋プロジェクトの助成事業は、子どもがつくる多世代交流型ZINE「だんらんしんぶん」の発行です。ZINEづくりを通して子どもたちが地域のさまざまな世代の人たちと出会い、交流するきっかけにしようと新たに企画しました。小学生が「子ども記者」となって地域取材し、自ら編集、印刷、製本、配布を行います。



左：将棋あそび 右：畑こできたトマトと杏子のかき氷



### 「しゅざい」のようす

35度を超える猛暑となった7月。暑さをものともせず元気いっぱいの子もたちは、「だんらんしんぶん」第2号(8月発行)の取材を行いました。前回、取材候補を見つけるために地域を歩き、興味を持った店や人をピックアップ。その中から、話し合いで「蛸池バル」と「地域のラーメン屋さん」に決定しました。5年生1人、2年生2人、1年生4人がそれぞれの役割を決めて、カメラと水筒を持って出発しました。インタビューでは「蛸池の一番好きところは」「落ち着く場所はどこ」と個人的なこともズバツと質問していきます。写真を撮り、似顔絵を描く役割の低学年の子たちとは対照的に、高学年の子どもはメモを取り、取材をしっかり進めていきます。「取材に行くときはどきどきした」「楽しかった。絵は結構難しかった」と子どもたちの感想。次回は、各自担当の紙面に今回取材した内容を記事にします。

### さまざまな団体とのコラボ

とよなか夢基金から助成を受けたことで、他の助成団体と知り合うことができ、ハンドベルチーム myu-みゆう-のコンサート「蛸池ミュージックパーティ」への出演、スマイル編集が発行する「子育て応援マガジン SMILE」への掲載と、さまざまな団体とコラボしています。

### 人と人の輪が広がっています

「娘は同じ世代の友達とも大人とも話ができるのでここに来るのを楽しみにしています。私たちだけではできないいろんな経験をさせてもらえて、親としてとても助かっています。」と参加した子の父親。

ZINEは、2か月に1回のペースで発行していきます。10月末には第3号が完成する予定。毎回、子ども記者を募集するなど、より多くの子どもが関わられるように工夫されていて、子どもたちと地域の大人のつながりが広がってきています。

ZINEづくりを通して、子どもたちが地域のさまざまな世代の人と関わり、地域に愛着を持ってくれるよう取り組んでいます。「とよなか夢基金」は寄付から成り立つ信頼の高い助成金なので、この助成事業を足がかりに地域に根を張って大きく飛躍できたらと思います。



代表 洲上桃子さん

### ハンドベルチームmyu-みゆう-



代表 吉田寛子さん

音のつながりが人のつながりへと変化するコンサートをめざしています。

## 音楽で異世代間交流を行う「蛸池ミュージックパーティ」

蛸池ミュージックパーティは、子どもから高齢者まで参加できる体験型コンサート。1年間に3回コンサートを行い、音楽を通して互いのつながりを感じながら、地域活性化をめざしています。

7月にとよなか起業・チャレンジセンターで、「第3回七夕コンサート」が行われました。公募した出演者は6歳から80歳代まで幅広く、20組総勢50人に。客席は満席になり、立ち見ができるほど大盛況。合唱、ピアノ、ハンドベル、フルート、二胡と

ジャンルを越えた多彩な演奏で、共に笑い、思わず口ずさんでしまう和やかな会場になりました。また、ハンドベル体験も行われ、初めてハンドベルにふれる子どもがたくさん参加しました。

ハンドベルチーム myu-みゆう-が助成を受けるのは、今年度で4回目。助成をきっかけに知りあった「団楽長屋プロジェクト」の出演など、これまで築いてきた「人のつながり」という貴重な財産を活かした活動が展開されています。

## 自ら命を絶つ人のない明るい社会をめざす「うつ」のE場所『ちゃんす』

### イキル応援プロジェクトLife Power



代表 横山 留美子さん

意見を表に出すことが苦手な当事者が、少しずつで良いので思いや考えを出していったら良いな、と思っています。

「ちゃんす」は、うつやひきこもりの人が、何かをしたいと思える居場所をめざしています。自分を否定する気持ちが強くなり、心のエネルギーが少なくなっている人が、ありのままの自分を肯定することで、自信を取り戻せるよう応援しています。さらに、本人だけでなく周りで支える家族への支援にも力を入れています。居場所と同じ時間に違う部屋で精神科医や弁護士に相談したり、参加者どうしが悩みを共有したりすることで、精神的な負担を軽減しています。

6月には精神科医の森川すいめいさんを講師に招き、「居場所」について語り合いました。参加者は、居場所に関心がある人、生きづらさを抱える人など年齢も性別もさまざまな20人。自死が少ない地域の研究事例をもとに意見交換をしました。

ぬいぐるみを渡された人が発言し、意見に対して批判をしないとルールを決め、話をしやすい場となるよう意識して進行します。今後も生きづらさを抱えた人と家族のための事業を毎月実施する予定です。

## 異年齢の子どもたちが一緒におもいっきり遊ぶ「わんぱくらんど」

### NPO法人キッズ&子育て応援隊MerryTime



代表 永谷陽子さん

子どもがいきいき元気に遊べる環境づくりのため、地域の方と一緒に活動し、助成金を有効に使わせていただきます。

「わんぱくらんど」は、子どもが親と離れて社会生活を始める最初の場所、「あそび場」です。スタッフは子どもたちの様子を見守りながら、群れ遊びのなかで人間関係力を育みます。豊中では、野畑地区で週に1・2度定期的に開催。また、豊中市内の子育て環境を調査するため豊中の各地で単発のイベントとして開催しています。

7月には、子育てをしやすい街になることを願う住民の依頼を受け、上新田で開催。牛乳パックなど身近な物を工夫して自然に遊びを作り出していました。

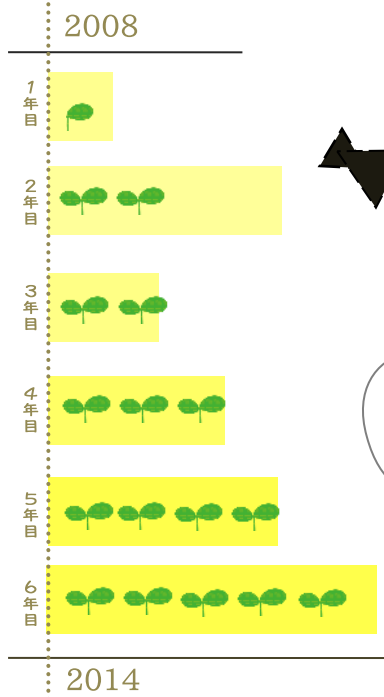
「普段は近所迷惑になるので大きな声で遊ぶことはできません。自由に体を動かす子どもの笑顔を見て、今後も続ける必要を感じました。定期的に開催できる場所を探すのが課題です」と依頼者。MerryTimeのめざす「子どもの生きる力の元を育てたい」という目的と地域の思いが重なり実施に至りました。

20年間培ってきたノウハウを持つNPO団体。地域住民と手を取り合っ、地域の課題解決に向けて取り組み始めました。



とよなか夢基金は7年目を迎えます

みなさまに  
支えられて



voice

新しく市民公益活動をスタートする方応援します  
豊中市・男性

豊中少年少女合唱  
ジョイントコンサート  
に感動しました  
豊中市・女性

僕が生まれた  
豊中を元気に  
してください  
八幡市・男性

がんばって！  
豊中市・男性

地元を  
元気に！  
豊中市・男性

子どもたちのために  
使ってほしい  
豊中市・女性

豊中で元気に  
生活させてもらってるから  
寄付という形で力になれば  
豊中市・女性

これまで地域貢献活動をしたことがなかったので、身近な寄付から始めてみようと思いました  
大阪市・男性

善意の輪が広がるようにと思い  
名前を公表しました  
豊中市・男性

寄付者

平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月に寄付をくださったみなさま(敬称略・五十音順)

個人	団体
上田まり子	御菓子司京屋
清水高子	匿名 24 人
長谷川かおり	匿名 2 団体
川野達也	株式会社新明和
田岡勇志	特定非営利活動法人ほがらか
黒木康弘	南桜塚ゆうの会
遠山一喜	豊中マンション管理士会
基伊津子	
山田さえ子	
西田正男	
山田英和	
西村拓夫	

今後の助成事業の予定

- 10.25 カラフルキッチン ハロウィン**  
小学生が外国文化を学ぶ料理教室  
参加費:1千円 (とよなかま)
- 出産体験の傾聴講座**  
産後の母親の心理と傾聴技法を学ぶ  
参加費:1276 円
- オータムコンサート**  
音楽を通じた地域住民の交流  
参加費:1276 円
- 10.28 ママになった記念祭**  
産後間もない母親が出産体験を振り返る場  
参加費:1276 円
- 11.03 あつまれ!げんきだ!わんぱくらんど**  
親子イベント 参加費:親子 500 円  
(NPO法人キッズ&子育て応援隊 Merrytime)

- 11.18 親子で楽しむSMILEフェスタ**  
子育て応援マガジン「SMILE」の読者イベント  
参加費:1500 円
- 11.29 うつのE場所「ちゃんす」**  
社会参加が難しい人の自由な居場所  
参加費:親子 2 千円
- 初めてのコンサート「ノボとコーセイ」**  
乳幼児と親と一緒に楽しめるコンサート  
参加費:親子 2 千円
- 12.06 カラフルキッチン クリスマス**  
小学生が外国文化を学ぶ料理教室  
参加費:1500 円
- 01.24 新春コンサート**  
音楽を通じた地域住民の交流  
参加費:1276 円

発行物

- 蛭池北町の防災・避難経路地図  
11 月発行 (蛭池北町自治会防災を考える会)
- 子育て応援マガジン「SMILE」  
3 月発行 (SMILE 編集部)
- 子どもがつくる多世代交流型 ZINE  
10・12・2 月発行 (団楽長屋プロジェクト)

定期事業

- わんぱくらんど野畑  
(NPO法人キッズ&子育て応援隊 Merrytime)
- 演劇青春塾わにまーる  
(シアターワーク豊中そらまめ)